

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030120

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○資金借入総額 210,000千円(最終償還 平成33年) ○利子補給総額 11,806千円 (平成24年度～平成32年度)
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	水産廃棄物処理緊急改善対策事業資金利子補給事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	施設処理率					
事業目標	90%					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9 産業振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	ほたて貝のウロ処理プラントの更新等の水産廃棄物処理施設改良事業に伴う、借入資金に対する利子補給 ○資金借入総額 210,000千円 (最終償還 平成33年) 利子補給総額 11,806千円 (平成24年度～平成32年度) ○事業主体 雄武水産施設利用協同組合	利子補給補助金 2,187千円 ※償還元金 27,000千円	利子補給補助金 1,791千円 ※償還元金 27,000千円	利子補給補助金 1,398千円 ※償還元金 27,000千円	利子補給補助金 1,000千円 ※償還元金 27,000千円	利子補給補助金 720千円 ※償還元金 15,000千円
	事業費(千円) 7,096 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 7,096	2,187	1,791	1,398	1,000	720
計画事業費	事業費(千円) 7,094 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 7,094	2,187	1,791	1,397	999	720
	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 7,094	2,187	1,791	1,397	999	720
実績事業費	事業費(千円) 7,094 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 7,094	2,187	1,791	1,397	999	720
	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 7,094	2,187	1,791	1,397	999	720
関連事項	特定財源の名称 【評価・実績】	(実施内容等) 利子補給補助金の支出 2,187千円 償還額 元金 27,000千円 支払利息 2,187千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 利子補給補助金の支出 1,791千円 償還額 元金 27,000千円 支払利息 1,791千円 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 利子補給補助金の支出 1,398千円 償還額 元金 27,000千円 支払利息 1,398千円 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 利子補給補助金の支出 999千円 償還額 元金 27,000千円 支払利息 999千円 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 利子補給補助金の支出 720千円 償還額 元金 27,000千円 支払利息 720千円 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り) 第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 66% 年度達成率 100% 全体達成率 31% 備考欄	70% 100% 56%	70% 100% 76%	70% 100% 90%	70% 100% 100%

事業名	水産廃棄物処理緊急改善対策事業資金利子補給事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	水産加工業者・水産施設利用協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設処理率								
【抱える課題やニーズは】	水産施設利用協同組合が運営するほたてウロ処理プラントの故障及び民間廃棄物処理業者の受入れ縮小により、廃棄物処理体制の確立が急務となっていた。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ほたてウロ処理プラントの更新・改良により安定的な処理体制の確立と処理コストの削減を目指す。	① 施設処理率(自己処理施設でのほたてウロ処理量÷ほたてウロ処理総量)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>70%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>37.2%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>53.1%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	70%	実績値	37.2%	達成度	53.1%
目標年度	平成29年度										
目標値	70%										
実績値	37.2%										
達成度	53.1%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	ほたてウロの自己処理体制の確立により、水産廃棄物処理事業の早期健全化と運営コストの削減を図り、水産物流通加工基盤の安定化を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	資金借入に対する支払利子の補填	平成24年度に実施した水産廃棄物処理施設の改良・機器更新事業に要した、長期借入資金に対する支払利子相当額を補助する。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地場産ほたて貝の増産計画もある中、廃棄物処理体制の早期安定化及び負担軽減を促進させることは必要不可欠である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	利子補給を行うことにより水産施設利用協同組合の負担の軽減が図られているが、砂の影響により円滑稼働が出来ないケースなどもあることから、自己処理量を減じざるを得ず、施設の稼働率は目標を下回った。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	資金借入にあたっては、町内金融機関を利用することで低利な融資を受けることができ、支払利子が軽減されている。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	施設改良資金については、全て自己資金で行っており、公平性が保たれている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
目標達成に至らなかったが、ランニングコストの削減、また、二次製品の販売を行うなど、計画どおり事業を進められている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
施設による処理については、機器増設により改善が図られており、借入資金の完済まで継続して実施する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止